

AEON TOWN イオンタウン山科栂辻

所在地：京都市山科区栂辻草海道町 15 番 1 号

業 態：ショッピングセンター

設置者：イオンタウン株式会社

(千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1)

URL：<https://www.aeontown.co.jp/yamashinanagitsuji/>



＜地域・社会貢献に対する取組方針＞

イオングループの理念の中心は「お客さま」であり、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、お客さま志向に徹する企業集団を目指しています。この理念のもと、イオンタウン山科栂辻においても、絶えず革新し続けるお店として、「お客さま第一」を実践し、地域の暮らしに根ざして地域社会に貢献し続けたいと考えています。

◆地域・社会貢献の取組

①施設内スペースの提供、大学が実施する取組への協力

地域・社会貢献に精力的に取り組む地域の大学に対して、施設内スペースの提供をはじめとした協力を行っています。

～産学連携で、地域力アップ！～

◎出張!! たちばな健康相談 in イオンタウン山科栂辻

当店は、京都橘大学と連携して様々な取組を進めています。

- 令和2年1月7日に、看護学部の教員と学生による健康相談や骨密度、血圧などの測定を行う「出張!! たちばな健康相談 in イオンタウン山科栂辻」を開催しました。
- 館内2階に京都橘大学美術部の皆さんが作成した掲示板を設置し、大学の様々な活動報告やイベント情報の発信などを行っています。
- 通学用シャトルバス（市営地下鉄栂辻駅～京都橘大学）の発着場所を施設内に新設し、令和2年4月から運行します。

■取組のきっかけ

京都橘大学から、施設内における通学用シャトルバスの発着場所の新設についてご相談をいただいた際に、大学で実施している地域・社会貢献の取組についてお伺いする機会があり、その取組内容に深く共感したことから、当施設内でも実施できないかと考えました。



■成果・効果（お客さまの反応）

「出張!! たちばな健康相談 in イオンタウン山科柳辻」には約80名の地域のお客さまにご参加いただきました。参加者からは、「気軽に血圧を測れるので、また利用したい。」「血管年齢や骨密度等はなかなか測定できない。このような機会があるのはとても嬉しい。」との声をいただき、盛況のうちに終了しました。

■今後の展開

マーケティングや消費者行動等を把握する来店客調査などの実習への協力を予定しており、学生たちが学んだ基礎的知識・技術を当店で実践することにより、様々な状況に応じた行動力と判断力を身につけていただきたいと思います。また、学生からのフィードバックを店舗運営の参考にし、地域の皆様に満足していただける店舗づくりを行っていきたいと考えています。

②安心・安全なまちづくりへの協力

施設の安全性向上や自治体との連携を通じて、災害時においても地域の暮らしを支えるライフラインとしての役割を果たしたいと考えています。

～安心・安全なまちづくり，施設づくりの実現へ！～

◎京都市と防災協定を締結！

イオンでは、災害時においても地域の一員として行動することを基本理念としており、万が一のときに地域の皆様のお役に立てるよう、自治体と協力を約束する防災協定の締結を全国で進めています。

イオンタウン株式会社と株式会社ダイエーは、令和元年11月19日に京都市と「災害時における防災活動の支援協力に関する協定」を締結しました。本協定は、災害時における一時的な避難所の確保と応急的な物資などの供給を円滑に行うことを目的としています。

■その他の取組

- ・ 館内にAEDを設置するとともに、専門店の従業員に使用方法について講習会を実施し、従業員の誰もが緊急時にサポートできる体制づくりを行っています。
- ・ 認知症への理解を深め、接客に活かせるよう、従業員が認知症サポーター養成講座を受講しています。
- ・ 介助が必要なお客さまのために、ハートビルインターフォンを店舗入口に設置しています。
- ・ 障害者専用の駐車場に専用リモコンで駐車区画を開閉するハートゲート（リモコンゲート）を設置しています。
- ・ 従業員の防災意識の醸成を目的として、山科消防署様と合同で消防訓練を実施しました。地域行政と連携を図ることで、地域の皆様の安全確保に努めていきます。



■成果・効果（従業員の反応）

AEDや認知症に関する研修の受講、消防訓練への参加をとおして、従業員の意識の高まりを感じています。従業員からは、「学んだことを接客に活かしていきたい。」との声もあがり、安心・安全で誰もが利用しやすい施設づくりに寄与することと思います。



■今後の展開

これまでの経験を通じて蓄積したノウハウを活かし、地域の皆様の安心・安全を最優先に考えた「災害に強い施設づくり」を目指すとともに、万が一災害が発生した際には、地域の早期復興を促す防災拠点としての役割を発揮できるよう、設備の充実化に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

③環境、福祉、教育に関する取組

お客さま、お取引先さま、地域の皆さまとともに、環境、福祉、子どもたちの教育など様々な取組を行っています。

～地域と距離の近いSCを目指して～

◎植樹祭の開催、福祉車両の贈呈

令和元年11月2日に、近隣にお住まいの方（約350名）にご参加いただき、地域に自生する「ふるさとの木」約3,600本の苗木を植える「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催しました。この取組は、ショッピングセンターが緑に包まれ、緑を育む心が広がっていくことなどを願い行っています。

また、同日に、イオンのグループ各社が加盟するイオン社会福祉基金から、社会福祉法人京都障害者福祉センター「京都市山科身体障害者福祉会館」に福祉車両を贈呈しました。



■その他の取組

核店舗の「イオンフードスタイル山科柳辻店」では、地元幼稚園の園児を対象に、食育体験学習「5 A DAY※たべるのおはなし教室」を開催しました。おかいものゲームなどの遊びを交えながら、野菜や果物などを活かした教材として、食べることの意味や大切さを分かりやすく伝えました。

※ 1日（A DAY）に5皿分の野菜と200gの果物を食べよう、という意味を表す。

■今後の展開

イオンの植樹活動は、1991年にイオンマレーシアのマラッカ店からはじまり、以来今日まで継続しています。今後も地域の一員として緑あふれるまちづくりに貢献していきたいと考えています。

取材者ひとこと

グルメシティヒカリ屋山科店として45年もの間地域住民に親しまれ、令和元年12月に全面リニューアルオープンしたイオンタウン山科榎辻さん。これまでからの地域とのつながりを保ちつつ、イオングループとしての地域・社会貢献活動にも力を注がれ、オープン当初から積極的に様々な取組を実施されており、益々地域になくてはならない存在となっています。

特に、大学と連携した取組をはじめとした地域の特性を活かした取組は興味深く、今後の展開が非常に楽しみです。これらの取組を通じて、さらに地域とのつながりを深め、より一層地域に愛される店舗づくりに結びついていければと願っています。